

知床世界遺産センター

- 冬期開館時間：9:00～16:30 火曜日休館
- 知床森の動物うんち展 好評につき延長決定！
- Twitter (@shiretoko_whc) 発信中



流水まだあるよ！

3月の後半になっても知床ウトロ周辺には流水があります。今年は流水がたっぷりあって、流水の景色がまだ楽しめそうです。暖かい日が増えてきているので、融けてしまったり、波に流されてしまったりと突然姿を消してしまうこともあるかもしれません。

流水が解けると海中のプランクトンが大量に発生して豊かな漁場となり、生き物も集まってきます。知床の生き物のつながりの始まりである流水を感じてみてください。

(笠井)【3月28日 7°C/-4°C】

知床自然センター

- 開館時間 9:00～16:00
- 4/20より 8:00～17:30
- 佐伯雅視『木の温もり展』開催中
- TORITABI スタンプラリー参加施設



赤い帽子をかぶった森のお医者さん

立ち枯れた木のでっぺんに止まって、「キョーン、キョーン」とよく伸びる声でしきりに鳴いている鳥がいました。こちらは日本最大のキツツキ「クマゲラ」です。何を考えているのか、よくわからない表情もこれまたかわいい。がっしりと木にしがみつく足は、まるで恐竜のようです。彼らが木を叩く音は、とても大きくて森中に響きわたります。森のお医者さんと呼ばれる彼らがいることは、森がとても豊かな証拠なのです。

(園田)【3月27日 7°C/-12°C】

濤沸湖水鳥・湿地センター

- 9:00～17:00 開館
- 月曜日休館
- 野鳥観察
- 濤沸湖の四季映像（無料）
- 資料展示室
- 木道
- 自然情報
- 観光情報
- <http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/>
(網走市 HP 内)



海ワシ、湖に集まる

平和橋から眺めると、オオワシが13羽、オジロワシは2羽いました。一部は結氷面に降り立ち、じーっとしています。

濤沸湖は解氷面が広がり始める時季(3月下旬から4月上旬)になると、平和橋の周辺に海ワシが集まり、コイ等の魚を食べに来ます。

この解氷面には海ワシの他にカワアイサやミコアイサ等のカモ類が集まることありますが、この時は天敵の海ワシが多かったためか、いませんでした。

工藤【3月22日 0.4°C/-4.9°C】

知床羅臼ビジターセンター

- 冬期開館日時：10～16時開館（月曜休館）
- レクチャールームにて「知床羅臼の四季」随時上映中



いま少し冬

もうすぐ春…というところで再びドカッと雪が積もった羅臼。羅臼川では冬鳥のカワアイサがまだぷかぷか浮いています。彼らはほぼ毎日冬の羅臼川で見られますが、春になると内陸の湿地等に移動して繁殖するため、その可愛い雛たちの姿を見られないのが残念でなりません。もうすぐ「カルル」という声が聞こえなくなるのは寂しいけれど、元気にたまごを産んで、また次の冬も戻ってきてね。

（宮腰）【3月22日 2℃/-6℃】

春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター

- 開館時間 9:00～17:00 ■休館日：水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌々日）、祝日の翌日。■入館料無料
- 双眼鏡・長靴・クマ鈴無料貸し出しあり ■Free Wi-Fi



居座る流氷と春の訪れ

3月下旬になっても春国岱周辺にはたくさんの流氷が居座っています。今年は春国岱周辺の風蓮湖がほとんど凍らなかったため、海とつながっている湖に流氷が流れ込みました。風蓮湖には南からオナガガモやヒドリガモが続々と渡って来ていますが、流氷と一緒に見られるという珍しい光景が広がっています。例年、4月頭にはミヤコドリが渡ってきますが、流氷の状態によって時期や見られる場所が変わるかもしれません。

東梅自然学習林は早春の花が咲き始めます。ぬかるみが多い時期ですので、長靴がおすすめです。

（大久保）【3月23日 5.5℃/-4.9℃】

野付半島 ネイチャーセンター

- 自然情報 ■観光情報 ■遊歩道 ■ギャラリー
- 図書コーナー ■有料ガイドプログラム ■売店
- 書籍（図鑑）販売 ■午前9時～午後5時まで開館



野付半島野鳥図鑑発刊！

待ちに待った野付半島野鳥図鑑が3月25日に発売されました。野付半島で見られる野鳥と、おススメの探鳥地10選、野鳥の情報など、野付の野鳥観察フィールドとしての魅力をふんだんに盛りこんだ内容となっております。

道内主要書店、amazon、および野付半島ネイチャーセンターの売店にて販売しております、是非お求めください！

（細字）【3月26日 8℃/0℃】

鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

■ネイチャーセンターは休館中です（4/1～9/30）



タンチョウは繁殖地へ…

2023年度のタンチョウの給餌は3/12に終了しました。給餌終了後、タンチョウたちは子育てのためにそれぞれの繁殖地へと帰っていきました。

繁殖期のタンチョウは子育てのためにとっても警戒心が強くなっているので、もしどこかで見つけても、あまり近づかずにそっとしてあげてください。

なお、当サンクチュアリのネイチャーセンターは4/1～9/1まで休館となります。また次のシーズンにお会いできることを楽しみにしています。

（吉田）【3月24日 8°C/-7°C】

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

■湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報 ■館内案内

■周辺観光情報 ■自然ふれあい行事

※開館時間（4～10月）午前9時～午後5時



新しい木道が開通しました！

冬期間行っていた木道の古い部分の改修工事がこのたび終了し、現在は全区間が通行できるようになっています。ピカピカの木道と、早春の釧路湿原の風景をぜひお楽しみください。なお、まだ古くて傷んでいる木道区間もありますので、散策の際はご注意ください。

釧路湿原にはもうすぐ夏鳥たちが繁殖のためにやってきます。

（藤原）【3月27日 6.8°C/-7.7°C】

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター

■湿原の自然情報や映像設備（湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て） ■自然ふれあい行事

※開館時間（4月～10月）午前10時～午後5時

◎入館料 無料



春を感じます。

3月も下旬を迎えた塘路湖では、日に日に解氷が進み、開いた湖面に水鳥の姿が見られるようになってきました。

アオサギは3月中旬頃にはコロニーに集い、繁殖期に入った模様。

山肌の日当たりのよい斜面には、キタミフクジュソウが咲き誇っています。エゾエンゴサクの開花は、もう少し先でしょう。

（高橋）【3月28日 8°C/-1°C】

厚岸水鳥観察館

- タンチョウ・オジロワシ・カモ類
- 展望室（望遠鏡があります！）
- 生映像の大型スクリーン
- 自然情報



氷がなくなり春の湿原へ

観察館の前を流れる別寒辺牛川は冬は凍ってしまいうのですが、今年は3/13に河口の氷がなくなり、次の日には観察館正面の川面も見えるようになりました。氷がなくなった水面にはミコアイサやウミアイサ、ホオジロガモやマガモなど多くのカモが集まっています。

冬を別の場所で過ごしていたタンチョウも湿原に戻ってきており、オジロワシと合わせてこれから繁殖シーズンになりそうです。

（古巻）【3月28日 7.2℃ / -5.7℃】

霧多布湿原センター

- 10～4月 - 火曜休
- 9:00～17:00 営業
- 展望カフェ
- エコツアー
- ミュージアムショップ
- 双眼鏡・長靴・レインウェア・熊鈴 レンタルあり
- www.kiritappu.or.jp/center/



春の足音が聞こえます

湿原センターの森に、フクジュソウが咲きました。だんだんとオオワシを見かけなくなり、街の雪がすこしずつ解けて、川の水面も揺れ始めて、外のおいも気のせいか、春らしくなってきました。

これから夏に向けて、たくさんの花が咲いて、湿原がたくさんの花の色に染まっていきます。冬の間の静かな湿原も非常によかったですのですが、1年ぶりの春を楽しむ準備をしようと思います。

（樋口）【3月20日 5℃ / -1℃】

ノンノの森ネイチャーセンター （津別町）

- 10:00～16:00・木曜日休館
- 体験プログラム・ガイド受付
- カフェ
- 自然情報
- 周辺観光情報
- <https://www.nonnomori.com>



【雪根開き】

まだまだ雪が残るノンノの森ですが…樹々の根本をよ～く観察すると春の気配♪
木も体温…いや「木温」が上がってきてるんですね♪
残雪の森をスノーシューで散策するときは、春の落とし穴に要注意です！

By 森の中の支配人
【3月29日 2℃ / -4℃】

阿寒国際ツルセンター

■ 野外飼育場・展示室 ■ ギフトショップ



季節の移り変わり

雪解けが進み、100羽以上も飛来していたタンチョウの姿も、今では10~20羽。これからは日に日にその数も減っていくでしょう。湿原へ戻ったタンチョウは産卵の準備に大忙しですね。また来シーズン、子どもを連れてやってくるのが楽しみです。

そしてタンチョウと入れ替わりに夏鳥がやってきます。これからビオトープの散策が楽しくなりますよ！

【ミキィ】3月28日 9.1℃ / -8.5℃

川湯 ビジターセンター

■ 自然情報 ■ 観光情報 ■ 川湯 eco 文庫
■ 開館時間 8:00~17:00 毎週水曜日が休館日
■ 2F「Chip Hop Cafe」毎週火・水曜日が定休日



春待つ晩冬

ここ何日かの陽気でぐっと積雪も目減りした摩周エリア。

屈斜路湖を覆っていた氷がどんどん薄く、大小の板にわかれ、春が近づいてきたことを知らせてくれています。

青葉トンネル付近ではフキノトウやフッキソウの葉が顔をのぞかせていました。

こんなに春を待ち遠しく思っているのに、冬が終わってしまうと思うと寂しくなってしまう、何とも複雑な季節です。

(鈴木)【3月25日 5℃ / -7℃】

道立青少年体験活動支援施設 ネイパル北見（常呂町）

■ 9:00~17:30 開館 ■ 休館なし（臨時休業日あり）
■ 野鳥観察（双眼鏡） ■ 周辺の動植物パネル展示
■ 創作体験 ■ 自然情報 ■ 観光情報
■ <http://napal-kitami-hokkaido.jp/>



春はまだ先！小鳥たちは春！

今年は、氷点下の朝が続き、サロマ湖はまだ半分以上が凍っています。

ネイパル周辺では、雪解けの畑にハクチョウの姿も見え始め、あちらこちらで畑の新芽を食べてます。水面が顔を出している所では、カモ類が泳ぎ、その近くでは、オオワシ、オジロワシたちが、高い所から見えています！

雪解けが進む今日この頃、数週間後にはもっと多くの鳥たちの姿を湖面で見ることができると思います。

(加茂)【3月29日 6℃ / 1℃】